

2005.1.30 馬場小室山と出会う ミニ・エクスカーショ 浦和博物館見学メモ

「深緑の中に甦る白亜の明治」浦和博物館の建物は、明治 11 年に建てられた埼玉県師範学校校舎「鳳翔閣」の胴部外観を復元したものです。

館内には、考古から近代の歴史・民俗・美術資料などが展示されていて、馬場小室山遺跡人面画土器のほか、紙本墨書大般若波羅蜜多經、浦和宿絵図、銅製鍍金八角釣灯籠などの指定文化財や、国指定史跡見沼通船堀に関するものとして、見沼通船器材や見沼通船堀閘門模型などがあります。

今回は、馬場小室山遺跡出土の土器、石器を中心に見学します。



10.土製耳飾
縄文後・晩期
H1 発掘調査で出土

出典：『浦和市出土品百選』1994

1.浅鉢形土器
縄文中期（加曽利 E 式）
S 44 発掘調査で出土
口径 19cm H13.6cm



2.磨製石斧
縄文中期
S 57 街路築造工事時の発掘調査で
中期包含層から出土
蛇紋岩製 9.8cm × 5.6cm



3.深鉢形土器
縄文後期（加曽利 B 式）
S 59 の住宅建設時の調査で
第 14 号住居跡から出土
底面に網代痕 口径 17.6cm H15.5cm



4.釣手形土器

縄文後期（加曽利 B 式）
S59 の住宅建設時の調査で
第 14 号住居跡から出土
口径 13.8cm H14.6cm



5.土偶装飾付土器

縄文後期
S56 発掘調査で破片で発見
口径 13.8cm 現高 16.2cm
男性のみみずく土偶と女性の山形土偶付
S59 浦和市指定有形文化財



6.台付鉢形土器

縄文後期（安行 式）
H1 第 21 次発掘調査で
第 32 号住居跡から出土
口径 17.6cm H18.2cm



7.人面画付土器

縄文晩期（安行 a 式）
S57 発掘調査で径 4.85m 深さ 2.6m
の第 51 号土坑から 30 個以上の主に
粗製土器群と共に出土
口径 13.0cm H14.8cm
浦和市指定有形文化財



8.注口土器

縄文晩期（安行 a 式）
S57 発掘調査で径 2.4m 深さ 63cm
の土坑から出土
口径 9.4cm H18.5cm
浦和市指定有形文化財



9.独鈷石

縄文後期後半～晩期前半安行式の時期
H1 第 24 次・25 次発掘調査で
縄文後・晩期包含層からそろって出土
左：13.5cm × 5.3cm 310 g 赤彩痕有
右：14.7cm × 5.1cm 260 g

